

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 評価方法
					知	思	態	
1 学期	4 月	1 9	理科ガイダンス 単元2 生命のつ 1章 生物の成長 とふえ方	・年間計画の確認をし、今後の見通しを持つ。 ・体細胞分裂の観察を行い、その順序性を見いだして理解するとともに、細胞の分裂と生物の成長とを関連付けて理解する。 ・生物のふえ方を観察し、有性生殖と無性生殖の特徴を見いだして理解するとともに、生物がふえていくときに親の形質が子に伝わることを見いだして理解する。	○	○	○	【知】生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【態】生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 行動観察・レポート・テスト・ノート
	5 月	5	2章 遺伝の規則性と遺伝子	・交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を見いだして理解する。	○	○	○	【知】遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【態】遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 テスト・ノート

	6月	4	3章 生物の種類の多様性と進化	・現在の生物及び化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関係付けて理解する。	○	○	○	【知】生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【態】生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 テスト・ノート
	7月	5	単元3 自然界の1章 生物同士のつながり	・生物同士のつながりを調べ、植物と動物の役割を理解するとともに、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活をしていることを見いだして理解する。	○	○	○	【知】自然と人間に着目しながら、生物同士のつながりについての基本的な概念などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物と環境についての観察・実験などを通して、自然界のつり合いについての規則性や関係性を、科学的に考察し探究している。 【態】生物同士のつながりに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 行動観察・レポート・テスト・ノート
	8月							

2 学 期	9 月	4	2章 自然界を循環する物質	・微生物の働きを調べ、植物、動物及び微生物を栄養の面から相互に関連付けて理解するとともに、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを見いだして理解する。	○	○	【知】自然と人間に着目しながら、自然界を循環する物質についての基本的な概念などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】微生物の働きを調べる観察、実験などを行い、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 【態】自然界を循環する物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 行動観察・レポート・テスト・ノート
	10 月	7	単元5 地球と宇宙 1章 天体の動き	・天体の日周運動の観察を行い、その観察記録を地球の自転と関連付けて理解する。 ・星座の年周有働や太陽の南中高度の変化などの観察を行い、その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連づけて理解する。	○	○	【知】身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【態】天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 行動観察・レポート・テスト・ノート
		8	2章 月と惑星の運動	・太陽の南中高度の変化の観察を行い、その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解する。	○	○	【知】身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、季節の変化、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。

3 学 期	1 1 月			・月の観察を行い、その観察記録や資料に基づいて、月の公転と見え方を関連付けて理解する。また、金星の観測資料などをもとに、金星の公転と見え方を関連付けて理解する。				【思】季節の変化、月や金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【態】季節の変化、月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 行動観察・レポート・テスト・ノート
	1 2 月	8	3章 宇宙の中の地球	・太陽の観察を行い、その観察記録や資料に基づいて、太陽の特徴を見いだして理解する。 ・観測資料などをもとに、惑星と恒星の特徴を見いだして理解するとともに、太陽系の構造について理解する。	○	○	○	【知】身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽や惑星などの太陽系、銀河系や宇宙の広がりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】太陽や惑星などの太陽系、銀河系や宇宙の広がりについて、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【態】太陽や惑星などの太陽系、銀河系や宇宙の広がりに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 行動観察・レポート・テスト・ノート
	1 月 ～ 3 月	19	3年間の復習	・3年間の振り返りを行いながら、今までに身につけた知識を活用できるようになる。	○	○		【知】3年間での学習内容についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、活用するなどの基本的な知識を身に付けている。 【思】今までに学習した法則・原理を説明するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 テスト